

林業

◇木曾の檜、秋田の杉が有名。炭では紀伊国の備長炭。

鉱業 [P. 194①]

◇佐渡の相川金山、石見銀山、但馬の24 銀山、下野の25 銅山〔以上幕府直轄〕、院内銀山、阿仁銅山〔以上秋田藩〕「日本のマチユチユ？」伊予の別子銅山〔住友〕

製鉄 [図表P. 180左下]

◇砂鉄を原料とするたたら製鉄が中国・東北地方で行われ、刀剣の原料となる玉鋼が生産された。

手工業の発達

図表P. 203①を参照すること。

◇農村家内工業…自前の原料・器具を用いて農村内で零細な生産を行う形態。

19世紀 → 問屋制家内工業…問屋商人が原料・器具を前貸しし、生産物を買上げる形態

26 (工場制手工業)…労働者が1カ所に集まって手工業生産を行う形態

※19世紀、桐生・足利の絹織物業、大坂・尾張の綿織物業でみられた。ただし、摂津の伊丹・池田・灘などの27 業においては例外的に17世紀から行われていた。 [P. 241①]

〈織物業〉 [図表P. 180]

一覽表ほど

【絹織物】京都・28 が有名…熟練を必要とする織機29 を用いる

→18世紀半ば以降、北関東の30 が発展、西陣との競争が激化した。

【綿織物】筑後の久留米 紘、豊前の小倉織 など

【麻織物】越後小千谷地方の越後縮、奈良晒、近江麻(蚊帳) など

〈製紙業〉

【高級紙】越前の31 ・奉書紙、播磨の32 、美濃紙 など

【日用紙】美濃紙、土佐紙、駿河紙、伊予紙、石見紙 など

〈陶磁器〉

33 焼〔通称「伊万里焼」〕、加賀の九谷焼、清水焼(京焼の1系統)、備前焼 など

〈漆器〉

春慶塗…能代・飛騨高山などで発達した、着色した木地に透漆を塗って木目の美しさを表す手法。

ほかに能登の輪島塗、陸奥の会津塗、南部塗が有名。

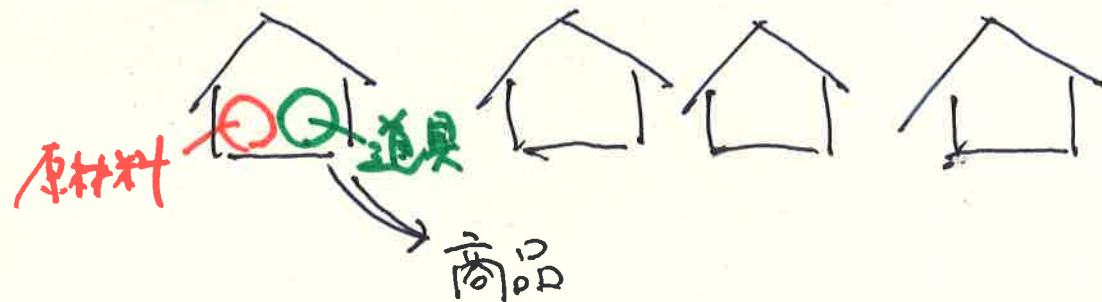
〈醸造〉

【酒】灘・伊丹・池田(摂津)、伏見(山城)

【醤油】34 (下総)、竜野(播磨)、京都

☆絹織物や醤油などは、江戸周辺の関東で生産されたものの出荷が、やがて大坂から購入される「下り物」をしのぐようになった。この江戸周辺の関東で生産された物を「地廻り物」とよび、江戸への商品出荷を行う関東の生産地域を近年では「江戸地廻り経済圏」とよぶ。

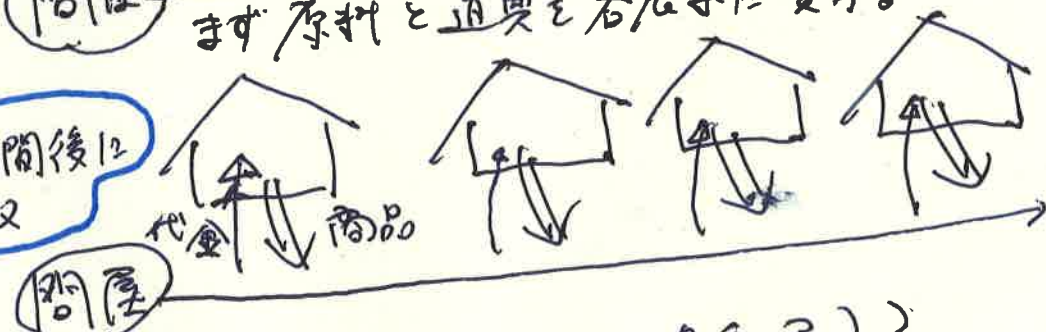
〈農村家内工業(原材料, 道具は自分で用意)〉



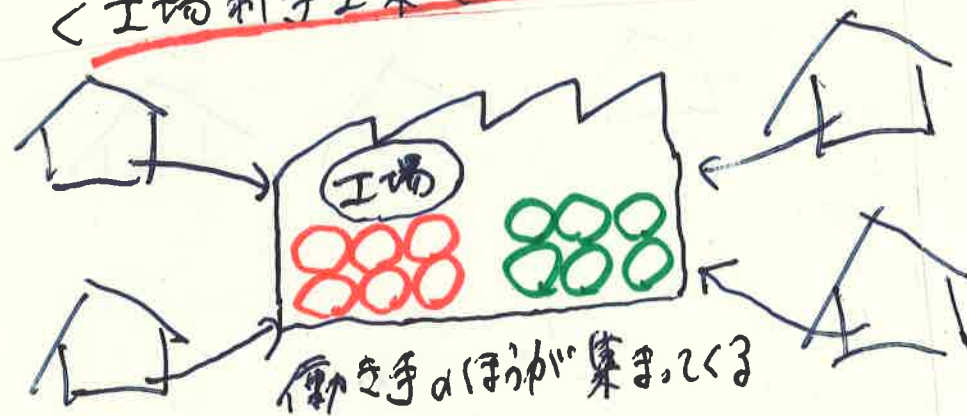
〈問屋制家内工業〉



一定期間後には商品回収



〈工場制手工業(工場に集まる)〉



いかに?